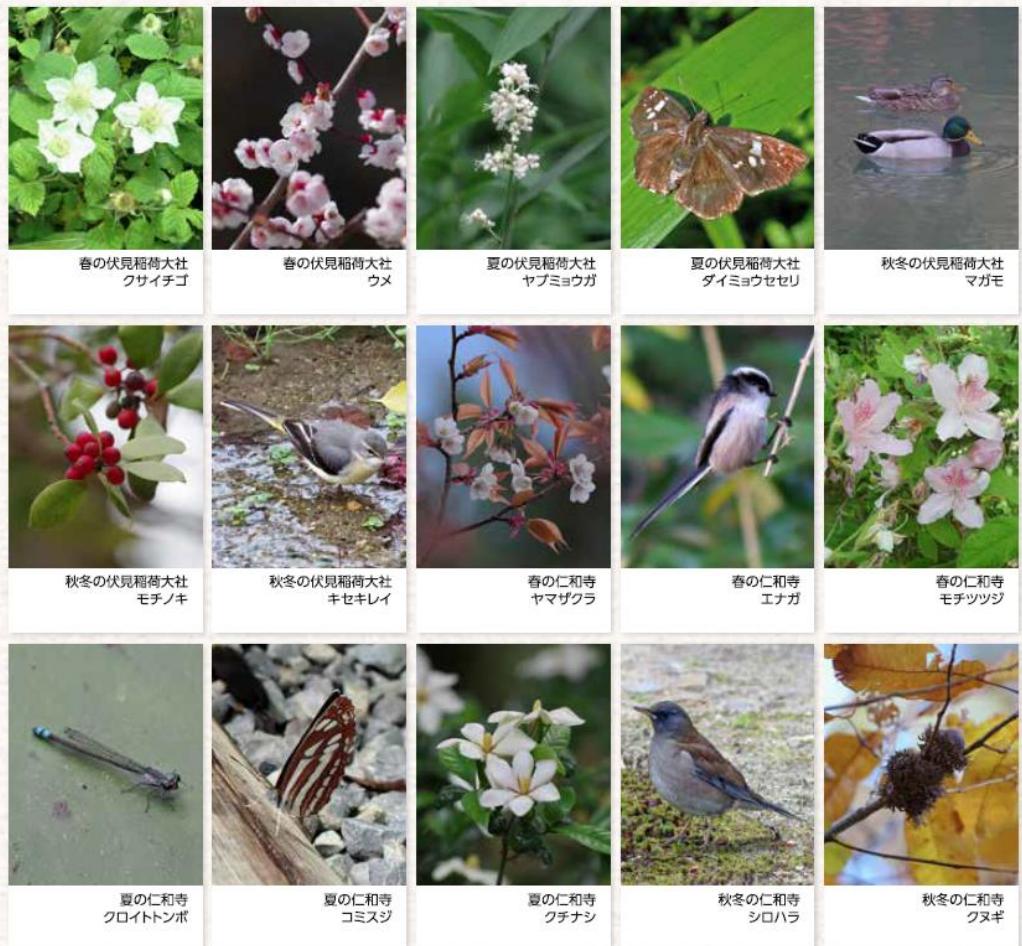


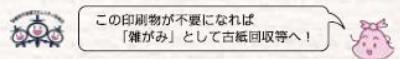
BIODIVERSITY SNAPS



制作協力(敬称略、五十音順)

河合 剛生(環境カウンセラー) 公益財団法人京都市都市緑化協会
真言宗御室派総本山 仁和寺 中村 健太郎(住友林業株式会社)
西台 律子(京都自然観察学習会講師／日本鳥学会員) 伏見稻荷大社

発行：京都市環境政策局環境企画部環境管理課 令和2年3月発行 京都市印刷物第313210号 この印刷物は再生紙を使用しています。





本殿



楼門



千本鳥居



奥社奉拝所



01

伏見稻荷大社

伏見稻荷大社

伏見稻荷大社が鎮座する伏見区深草地域は、清い流れの鴨川沿いにあり、土地は肥沃で、弥生時代にはすでに稻作が行われていました。711(和銅4)年2月初午の日には、稻荷大神が稻荷山の三ヶ峰に顯れたと伝えられ、人々はこの山を神が鎮まる山として篤く信仰し、今に至ります。「稻荷」は「稻なり」から転じたといわれています。

稻荷神社は日本全国で約3万社あり、伏見稻荷大社はその総本宮として崇敬を集めています。

伏見稻荷大社の正門に当たる楼門は、入母屋造り檜皮葺一階建ての構造で、国的重要文化財に指定されています。この建物は、

1589(天正17)年に、豊臣秀吉が母・大政の病氣平癒を稻荷社等の諸社に祈願し延命を祈り、そのお礼によつて建てられたと伝えられています。また、伏見稻荷大社では狐が

楼門

伏見稻荷大社の正門に当たる楼門は、入母屋造り檜皮葺一階建ての構造で、国的重要文

化財に指定されています。この建物は、

1589(天正17)年に、豊臣秀吉が母・大政

の病氣平癒を稻荷社等の諸社に祈願し延命を

祈り、そのお礼によつて建てられたと伝えら

れています。また、伏見稻荷大社では狐が

千本鳥居

伏見稻荷大社といえば、すぐさま朱色の鳥居を思い浮かべるほど、鮮やかに彩色された鳥居が続く風景が知られています。朱色は伏見稻荷大社の御神徳である五穀豊穰を表す色、豊かさを表す色だとされています。

この朱の鳥居は稻荷大神に獻じて感謝の気持ちを表すもので、今日では山上から山下に至るまで、鳥居の数は万余に及びます。

殊に奥宮から奥社奉拝所に至る参道に一般に分かれて林立する鳥居は「千本鳥居」と呼ばれ、人々の稻荷大神への感謝の気持ちが、目に見えて分かる場所です。また、「千本鳥居」とは「数が多い」との意味で、伏見稻荷大社のシンボルとなっています。

伏見稻荷大社 参拝情報

【参拝時間】

24時間参拝可能

【参拝料金】

無料

※詳細は伏見稻荷大社 HP で確認又は以下にお問い合わせください。
電話番号: 075-641-7331



伏見稻荷大社 HP

京都の社寺と生物多様性 伏見稻荷大社

仁和寺

第五号

発行に当たって

京都市では、京都の豊かな自然環境やそれによって支えられてきた伝統文化を未来へと伝えていくため、「京都市生物多様性プラン」に基づく取組を推進しています。

京都市の市街地にある神社や寺院の縁は、京都ならではの自然環境を形作る重要な要素となっています。京都の社寺と生物多様性は、そうした社寺や庭園を訪問される際に、生物多様性にも着目していただく契機となることを目的とした冊子です。本冊子では、四季折々で見られる生きものを取りまとめた「生きものマップ」や、社寺林・庭園の見どころなどについて紹介しており、平成27年度に第1号を発行して以来、今年度で5号目となります。第5号では、伏見稻荷大社と仁和寺を取り上げ、境内の生きもののマップに加え、伏見稻荷大社の森と生きものの関係や、仁和寺の御室桜に関する研究、御室八十八ヶ所霊場の生きものについても掲載しています。

社寺林や庭園により保たれてきた生きもののつながりを感じ、京都の自然環境や生物多様性について考えるきっかけとなることを願っています。

これまでの掲載社寺

- 第1号 涉成園／上賀茂神社
- 第2号 大覺寺／平安神宮
- 第3号 城南宮／离禪寺
- 第4号 東福寺／北野天満宮

生きものマップについて

季節ごとに、伏見稻荷大社／仁和寺の境内で見られる生きものとその特徴を紹介しています。また、それぞれの生きものの見つけやすさも表示しています。

見つける難易度 ★: 見つけやすい ★★: 少し見つけにくい ★★★: 見つけにくい

目次

01
伏見稻荷大社

02 03

伏見稻荷大社 生きものマップ(春)

04 05

伏見稻荷大社 生きものマップ(夏)

06 07

伏見稻荷大社 生きものマップ(秋／冬)

08

伏見稻荷大社の森の不思議と生きものの多様性
～つながる森と命～

09
仁和寺

10 11

仁和寺 生きものマップ(春)

12 13

仁和寺 生きものマップ(夏)

14 15

仁和寺 生きものマップ(秋／冬)

16

生きものの宝庫 成就山 御室八十八ヶ所靈場

17

仁和寺にあってこその御室桜

「京・生きものミュージアム」

京都の歴史や伝統文化を育んできた生物多様性について皆様に理解を深めていただくため、京都市生物多様性総合情報サイト「京・生きものミュージアム」を2014(平成26)年10月に開設しました。

生物多様性について楽しく学び、生物多様性保全に取り組むための様々なコンテンツを用意しています。

<http://ikimono-museum.com/>



夏伏見もみじ稻荷大社

生きものの位置を示していますが、あくまでも調査時のものであり、必ずしも同じ場所で見つかるとは限りません。

*見つける難易度 ★：見つけやすい、★★：少し見つけにくい、★★★：見つけにくい

11 ニセアシベニイグチ 魔足紅猪口
見つける難易度 ★★



傘は初め半球状で、ちに平板上に開きます。幼苗時は傘の縁が内側に強く巻いています。柄の色は下部にかけて赤褐色を带びます。柄の上部は黄色で細かい網目模様が见られます。傘や柄は最初と青色に変化するのが特徴です。夏から秋に林内に発生します。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。



13 アオダイショウ 青大蛇
見つける難易度 ★★



樹上性の横口が強く樹洞などにもすみつきます。枝や葉に巻きついて登っていくのではなく、腹側の両側に強い腹起があり幹や枝に引っ掛けして垂直に移動することができます。成体は青緑っぽい色で日本本土では最大なのが名の由来です。幼蛇の体色はマムシに似ています。

10 ガマ 蒿
見つける難易度 ★



水底の泥の中に地下茎を伸ばし、水面より上に円柱形の苞をつけます。苞の下部は赤褐色で太い圓錐花の集まりです。上面には黄色の蝶花が下向きに咲きますが、秋になると葉は黄葉につきます。花粉の飛散後、蝶花は落下し種子のみ残ります。蝶花が落ると、白い繩のようなものをついた細かな種子が風にのって飛びます。

08 ネジキ 棘木
見つける難易度 ★★



幹がねじれる性質がある木なのでネジキです。樹皮には常に細かい裂け目があります。節の枝葉の脇から房状で棘形の美しい花が下向きに咲きますが、秋になると葉は黄葉につきます。花粉の飛散後、蝶花は落下し種子のみ残ります。蝶花が落とると、白い繩のようなものをついた細かな種子が風にのって飛びます。

06 ミヤマカラスアゲハ 深山鳥揚羽
見つける難易度 ★★★



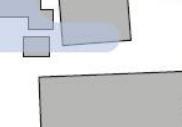
山地性の青緑色に輝く大きなアゲハチョウです。深山谷に飛ぶがゆえ、湿った地面に吸水によっているのが難解で、翅ははねは光を受けて青緑色に美しく輝き、後翅(こうし)裏面に面白い弓紋の模様があります。幼虫はカラスザンショウやキハダなどの葉を食べ、蛹(はなぎ)で越冬します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



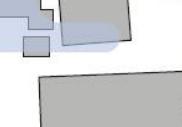
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



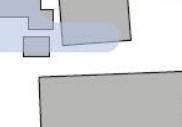
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



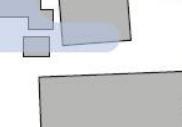
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



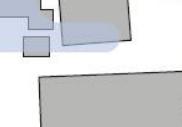
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



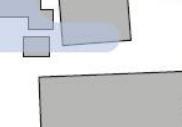
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



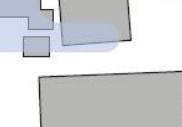
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



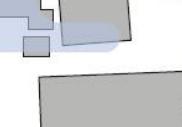
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



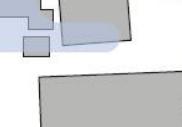
緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 クサイチゴ 草莓
見つける難易度 ★



茎や枝には短い毛が生え、細かいトゲがまばらにあります。草といつていますが、木本(もくほん)です。早春に地下茎から新しい茎を出し白い花を咲かせます。熟した果実は透き通った赤い粒が集まっています。酸味は少なく甘い味です。葉柄(ようへい)の基部に線形の托葉があります。

07 ヒメシャラ 姫沙羅
見つける難易度 ★★



落葉性的ナツツバキの仲間で、シャラノキ(ナツツバキ)に似て葉や花が小さじことヒメシャラです。日本の固有種で、局域が並ぶ山地付近で見ることができます。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

04 オニヤンマ 鬼蜻蜓
見つける難易度 ★★



緑色の腹足はとっつきした黄色と黒色の斑模様が特徴的な日本最大のトボポです。幼虫から成虫になるまで5年もかかります。成虫のオスは結構張りを持ち、水辺付近の一一定区域を巡回します。メスは単独で水のきれいな小川や湧き水の流れ込む水たまりなどで産卵します。

12 ツチガエル 土蛙
見つける難易度 ★



水辺から離れずに生活する茶色のカエルで、背中に大小のいぼ状突起がたくさん並んでいます。成体には強い匂があり、ヒビなどの捕食者から身を守るために役立っているようです。多くは幼生(おたまじく)のまま越冬し、成体は主に昆虫類を食べます。

09 ク

秋の伏見稻荷大社

生きものの位置を示していますが、
あくまで調査時のものであり、必ずしも同じ場所で見つかるとは限りません。



10 スダジイ
見つける難易度 ★

滑らかのようになって地上に撒出した根のことを板根といいます。幹を中心にして放射状に伸びています。チャートや青岩(けいがん)などの粘土質の土壌のため、板根がしっかりと木を支えています。スダジイの実は食用となり、樹高は20m近くになります。



08 ジュウガツザクラ 十月桜
見つける難易度 ★

エドヒガンの園芸品種で年2回4月と10月頃に咲きます。秋の開花人が目を引くで「十月桜」と呼ばれています。淡紅色で八重咲きの花は2~3cmと小さく、ボツボツとついています。茶店でくつろぐ人たちの目にとまりやすい位置に植栽されています。



06 アサギマグラ 浅葱
見つける難易度 ★★

浅葱(あさぎ)とは青緑色の古名です。半透明水色の美しい蝶(はね)を持ち、蝶体は黒地に白点のまだら模様になっています。秋に日本本土から南西諸島・台湾への渡りをすることで有名です。幼虫はアルカリド系毒物質を含むキヨララ・イケマなどの葉を食べます。マダラチョウの仲間は毒を持っていることで知られています。



04 センチコガネ 金龜金龟子-青銅黃金虫
見つける難易度 ★★

センチは便所を指す語「雪隠(せっちん)」からきてて糞糞(ふくふく)集まる性質に由来します。成虫の体長は2cmほどの小型の甲虫で金屬光沢のある黒っぽい色をしています。メスは獣糞を土中の巣穴に引き込んで育児球を作ります。化した幼虫は育児球を食べて育ちます。獣糞を探しながら地面近くを飛ぶ姿がよく見られます。



11 ヤマノイモ 山芋
見つける難易度 ★

難能異株(しうじゆしづ)のつる植物です。細長いハート形の葉で裏に裏膜から繩状(いじょうじゆう)の花をつきます。実は大きめの3つの殻があり、中に種子があります。葉腋に「むかご」が付け、落ちたむかごからも芽が出来ます。ヤマノイモと言えば食用にする根が有名ですが、むかごも食べられます。



12 フユイチゴ 冬苺
見つける難易度 ★

木本(もくほん)で赤い実が冬に熟するので冬苺となりました。つる状に伸びて根を下ろし、株をひやすので、群生状態になります。秋に葉腋から花を出し、繩状(いじょうじゆう)の白い花を数個つけます。冬に熟す赤い実は甘酸っぱいほど食用になります。葉はほぼ平行で細かい筋隔(きよく)のギザギザがあります。



09 ソヨゴ 冬青-楓
見つける難易度 ★

墨色の花の形が楓に似ているのが名の由来です。秋の七草の一つですが、京都市のレッドデータブック2015では絶滅寸前種に分類されています。乾燥した茎葉にクマリンの香りがあるので、昔から芳香剤として利用されてきました。池周辺に多數植栽されています。



07 キタテハ 黄豆羽
見つける難易度 ★

翅(は)の表が黄色のタテハトウワが名の由来です。翅の縁には大小の突起があり、先が尖っています。翅の裏は前後とも赤褐色で枯れ葉のような保護色となります。成虫は大アゴで昆虫などを捕られます。幼虫は花や樹木、熟した果実などに集まってきます。幼虫はカナムグラの葉を食べ、成虫で越冬します。



05 ハンミョウ 斑鳩
見つける難易度 ★

脚を交差して素早く歩き、尾羽は長めで、上下に特徴的な姿は他のセキレイと同じです。地上で羽を広げ求愛ダンスをします。樹の下や街路樹などに巣団でねぐらをとることがあります。「チチン、チチン」と飛びながら鳴き、オスは美しい声でさえぎります。



03 ハクセキレイ 白鶲
見つける難易度 ★

美しい姿や鳴き声を楽しむためにベットとして輸入されたものが野外に定着した鳥で、外来生物法で特定外来生物に指定されています。喉が黄色で胸がオレンジ色、翼には黄色と赤色の斑紋が鮮やかな鳥です。雌性ですが、地面に落りて種子をついばむ姿がよく見られます。



02 ソウシチヨウ 相思鳥
見つける難易度 ★★

鳥の伝統的な種名では、緑色は「アオ」とつく場合が多く、背が緑色のツツジの一種です。胸部は灰褐色で、腹部は白くV字状の黒い斑紋があります。「キヨキヨ」と鳴き、「ヒヨーピーー」とも鳴きかわします。昆虫や果実などを食べ、地表でアリも食べます。



01 アオガラ 青啄木鳥
見つける難易度 ★★★

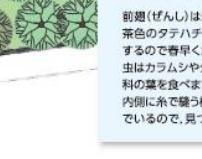
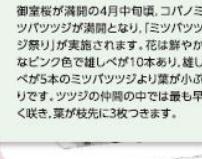
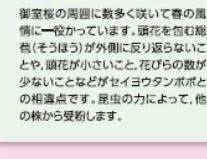
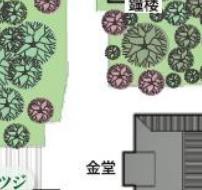
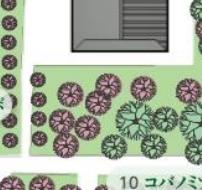
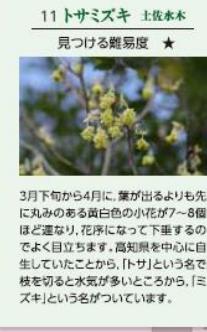
生きもの位置を示していますが、
あくまで調査時のものであり、必ずしも同じ場所で見つかるとは限りません。

※見つける難易度 ★：見つけやすい、★★：少し見つけにくい、★★★：見つけにくい

春の和上

生きものマップ

生きもの位置を図示していますが、あくまで調査時のものであり、必ずしも同じ場所で見つかるとは限りません。





10 カナメモチ 要翻
見つける難易度 ★



09 タイサンボク 大山本泰山木
見つける難易度 ★



08 コニヤンマ 小鬼崎
見つける難易度 ★★



07 サトキマグラヒカゲ 里黄斑日際蝶
見つける難易度 ★



06 ウスバカゲロウ 海端好蝶
見つける難易度 ★★★

木材の葉の葉(かなめ)に似われ、モチノキに似ているところから名がつきました。葉には鋸歯(きょじ)の線(せん)があり、白い小花が集まって美しく咲いています。春には赤い花びらの新芽が伸びてくるのでカナメモチともいわれています。秋には葉が赤く熟します。

日本アメリカ原産の常緑広葉樹で、花も葉も大きいのが特徴です。白い花は直径15~30cm位大きく、花びらは9枚あります。葉の裏には光沢があり、裏には褐色の毛が密生しています。モクレンやコブシの仲間で、これらと同じような赤い実がなります。

日本最大のサナエントボでオニヤンマよりも大きいボタルです。ヤマソと名につながります。葉の裏には光沢があり、裏には褐色の毛が密生しています。モクレンやコブシの仲間で、これらと同じような赤い実がなります。

蝶(はね)の表面は全体に黄褐色で、翅の裏面は灰褐色で樹皮に似た模様です。成虫は庭木林の糞便を好み、樹液や腐った果実などに集まっています。飛び立ってもすぐにとまり、静止時に常に翅を閉じています。幼虫は砂地川底に潜んでおり、枯れ葉のような扁平な形をしています。

成虫(汚真上)は短い触角、透明の華い道(はね)を持つ美しい昆虫です。幼虫(写真右)や卵がわからないといった場合は、葉につくられたすり鉢状の巣(写真左)は、越冬巣(あいじご)と呼ばれます。幼虫は、葉の底に潜み獲物となるアリなどの小さな昆蟲やヤモリなどが落ちてくるのを待っています。幼虫の期間は1~3年程度です。



11 シャシャンボ 小小坊
見つける難易度 ★

ツツジの仲間の常緑広葉樹。5~6mmほどの小さい実がなるので小さい坊やを意味する「小小(ささ)ん坊」から「シャシャンボ」になったともいわれています。5月~7月に白色の蝶の花の花を前に伸びた枝の葉の間に房状に多数つけます。

ツツジの仲間の常緑広葉樹。5~6mmほどの小さい実がなるので小さい坊やを意味する「小小(ささ)ん坊」から「シャシャンボ」になったともいわれています。5月~7月に白色の蝶の花の花を前に伸びた枝の葉の間に房状に多数つけます。



12 スイレン 睡蓮
見つける難易度 ★

池底の地下茎から長い茎を伸ばし、水面に葉や花を浮かべます。葉は薄くつやつやとしていて、深い切れ込みがあり、ハスのようないわゆる水性はありません。日中に花を開いて、夜には閉じるといふことを繰り返すため、眠るハスを意味し、睡蓮と書きます。

池底の地下茎から長い茎を伸ばし、水面に葉や花を浮かべます。葉は薄くつやつやとしていて、深い切れ込みがあり、ハスのようないわゆる水性はありません。日中に花を開いて、夜には閉じるといふことを繰り返すため、眠るハスを意味し、睡蓮と書きます。



13 チチアワタケ 乳栗苔
見つける難易度 ★

アカマツやクロマツの林の地上に群生するキノコです。初めは半球形の傘ですが、成長すると平らになってきます。表面はヌメリが見られ、幼菌は葉緑色でやがて黄褐色になってしまいます。以前は食用とされていましたが、現在では毒キノコとされます。

アカマツやクロマツの林の地上に群生するキノコです。初めは半球形の傘ですが、成長すると平らになってきます。表面はヌメリが見られ、幼菌は葉緑色でやがて黄褐色になってしまいます。以前は食用とされていましたが、現在では毒キノコとされます。



03 ヤマガラ 山雀
見つける難易度 ★

木の実や昆蟲などを器用に脚の指でつかみ、くちはしざつぱりとあります。頭と喉の黒と胸から腹にかけてのオレンジ色とのコントラストがあざやかな鳥です。木の実などを貪る習性もあります。「ツーーーーー」とオスは高らかにゆきりさえずります。



04 コクワガタ 小織形
見つける難易度 ★

身近な森でも見ることの出来る小型のカワセミです。幅広の頭部に細長い大あごが特徴で、内側のでっぱりがつかつか歩るなど個体差があります。日中は樹の洞、根際の土壠などに潜んでいて、夜になるとクヌギやコナラなどの樹洞に集まってきます。



05 ミズイロオナガシジミ 水色長小掛
見つける難易度 ★★★

後翅(こうし)の後方に長い突状突起を持ち、翅表は灰色ですが、後翅に水色の斑がわざわざあるのでこの名がつきました。夕方になると活気に飛び回ります。卵は幼虫の食餌であるクヌギやコナラなどの体羽や樹皮に産みつけられ、卵で巣を造り、化します。成虫を見ることができるのは年1回(5月下旬~7月)です。

*見つける難易度 ★: 見つけやすい。★★: 少し見つけにくい。★★★: 見つけにくい

東山和寺 生きものマップ

生きものの位置を図示していますが、あくまで調査時のものであり、必ずしも同じ場所で見つかることは限りません。



01 キジハタ 雀類
見つける難易度 ★

樹洞同様で翼の縁が赤褐色で、ウロコのように見える模様がキジのメスに似ていることから雀講といいます。親はビゴンミヅクリという脂肪とタンパク質に豊富な栄養分を分泌しヒナに与えます。そのため1年を通して繁殖が可能です。



02 コゲラ 小本鳥
見つける難易度 ★

日本に生息する最小のキツツキです。後頭部の羽に赤い斑があるのがオスですが、隠れて見えにくいので雌雄の区別は難しい鳥です。朽れ木や樹皮の間に隠れる昆蟲類をざっくりとした粘り気のある長い舌でうまく引き出することができます。

生きものの宝庫 成就山御室八十八ヶ所靈場

仁和寺の裏山にある成就山は、標高2,336mの弘法大師ゆかりの靈場で、御室八十八ヶ所靈場と呼ばれています。約3kmの山道に八十八のお堂（札所）が点在し、四国八十八ヶ所の寺のそれぞれの御本尊がお祀りしてあります。靈場の札所を巡り、これを結願成就すれば、四国八十八ヶ所と同じ御利益を得ることができます。老若男女を問わず参拝客で賑わっています。



御室八十八ヶ所靈場の札所

さえずりに導かれて

参拝道は自然があふれ、小鳥のさえずりや、四季の花々を楽しむことができます。春には、ヤマザクラやコバノミツバツツジ、モチツツジなどが迎えてくれます。ウグイスのさえずりは初夏まで響き渡り、樹林下部の苔原で子育てに忙しそうです。木々の芽吹きがまぶしい初夏には、クヌギやコナラなどの樹液に、サトキマダラヒカゲやスミナガシ、オオラフサキなど珍しい蝶もやってきます。国蝶のオオムラサキは、はばたきが機敏で滑空するような飛び方をします。幼虫時代の食草であるエノキは「仁和寺境内」もあります。その他にも、コクワガタやシラホシハナムグリ、カナブンなどが見られることもあります。



国蝶 オオムラサキ

仁和寺にあつてこそ御室桜

他所のお花見が終わりを迎える頃、総本山仁和寺に、満を持したかのように蕾を緩め始める桜があります。この桜は、江戸時代初期、応仁・文明の乱などで荒れ果てていた仁和寺を徳川幕府が再興した後に植栽されたといわれており、1924(大正13)年に御室(サクランボ)として名勝に指定されています。また、この桜園の大部分を占めるのが、御室有明、という品種であり、1661(寛文25年)に花見の記録が確認されていることから、最も古い株は樹齢約360年と考えられます。



御室桜

御室桜研究プロジェクト

次年度には、根の詳細な観察のため、根がどのように分布しているかを調査しました。その結果、御室有明の根は、幹を中心にして直径



根の調査

風情あふれる秋冬期

1番札所(靈山寺)からスタートすると、16番札所(觀音寺)あたりまではヒノキの樹林が中心です。一年を通じてカケスやヤマガラ、シジユウカラなどが飛び交い、参拝客が多いせいかあまり人を警戒しないので、近くで観察することができます。ヒノキ、コナラ、クヌギなどの実が熟す秋には、十数羽のカケスの群れが見られます。カケスには貯食という習性があり、ドングリなどのブナ科の実を運んでいく姿も見られます。

整備された道や階段を進んでいくと、紅葉の美しさに心がやすらぎます。周囲ではイロハモミジなどの種をイカルの群れがついでみ、「ヨシツキヨシ」と軽やかに鳴き交わしています。時には、「ヒーコキヒー」と澄み渡るさえずりがよく響きます。広葉樹の葉が落ちる冬には、マツやスギの木にアトリやマヒワなどの群れが見られ、中でもマヒワは、種子をつけた樹木に群がつついでみ、時おり一斉に舞い上がりてはむとの場所に戻ることを繰り返します。

「チュイン」と鳴きかわす様はとても賑やかで、鮮やかな黄色い帯がよく目立ちます。



マヒワ



カケス

約2時間といわれる行程も、参拝したり観察したりしていると3時間はかかります。結願成就の88番札所(大窓寺)に着くと、夏にはスイレン、コウホネ、キショウブなどが咲く池があります。クロスジギンヤンマなどの産卵も見られ、チョウトンボ、コシアキトンボ、シオヤントンボ、ショウジョウトンボ、クロイトンボなど、15種ほどのトンボが見られ、自然の豊かさに驚かされます。京都で一日お遍路を体験し、豊かな自然と触れ合ってみませんか。

心豊かな一日

約2時間といわれる行程も、参拝したり観察したりしていると3時間はかかります。結願成就の88番札所(大窓寺)に着くと、夏にはスイレン、コウホネ、キショウブなどが咲く池があります。クロスジギンヤンマなどの産卵も見られ、チョウトンボ、コシアキトンボ、シオヤントンボ、ショウジョウトンボ、クロイトンボなど、15種ほどのトンボが見られ、自然の豊かさに驚かされます。京都で一日お遍路を体験し、豊かな自然と触れ合ってみませんか。



クロスジギンヤンマの産卵



88番札所大窓寺

参拝道をどんどん上っていくと、50番札所(繁多寺)と51番札所(石手寺)の間に京都市内を一望できる休憩所があります。眼下に広がる京都

市内の眺めは素晴らしい、晴れた日には遠く伏見まで望むことができます。ここでは、北の地域へ繁殖のために帰っていくツグミなどの冬鳥の群れを見送ることができます。これらの冬鳥は、仁和寺の境内で集結していることもあります。



休憩所からの眺望

京都の景観保持とクローネン

茎頂培養を用いた記念すべきクローネン苗1号は、仁

ノ増殖を行ったところ、八重咲きの御室有明から増殖した苗は八重咲きに、一重咲きの御室有明から増殖した苗は一重咲きになることを確認し、開発した茎頂培養技術が御室有明の苗増殖に有効であることが証明されました。

和寺名勝内に植樹し、2014(平成26年)に無事開花しました。品種は、先人が時間かけて育て、そして受け継ぎてきた貴重な文化財ですので、今回の組織培養苗の開花が、樹齢約360年の名勝御室桜の保護になるとともに、京都の景観保持や文化の継承の一助になればと考えています。現在は、クローネン増殖した八重咲きが一重咲きに変化しないかを継続調査しています。

また、クローネン苗の増殖に成功したことから、植栽する穴の中に入人工的に粘土の層を作った場合とそうでない場合を設定し、土壌調査の推測を証明する実験にも着手しました。この実験は、東日本大震災からの復興を応援するため、津波で校庭の桜が枯れてしまった被災地の小学校に協力いただき、希望の桜プロジェクトとして、各校庭にクローネン苗を植栽し、比較を行っています。

中村 健太郎 氏
住友林業株式会社
森林・緑化研究センター長

希望の桜プロジェクト